


## 観光社会資本の事例

テーマ	緑と干潟の憩いの広場千葉ポートパーク		
【施設の状況写真】			
			
<p>芝生広場からポートタワーをのぞむ。春には花見などで賑わいを見せている。</p>		<p>千葉ポートタワーからは、東京湾を一望出来、富士山のすそ野の先に沈む夕日も楽しめる。</p>	
【施設の利用写真】			
			
<p>潮風にあたりながら、公園内にある人工干潟で潮干狩りを楽しむ市民が多い。</p>		<p>犬の散歩はもちろんアジリティーやフリスビーなどの動物イベントも開催されている。</p>	
【観光資源としての利用状況】			
<p>千葉ポートパークは、港湾で働く就業者はもちろん市民の憩いの広場として大きな効果をあげている。花見や潮干狩り、フリーマーケットや花火大会等の数々のイベント開催により観光スポットとして定着しつつある。</p>			

テーマ	緑と干潟の憩いの広場千葉ポートパーク
【社会資本の基礎データ】	
名称	千葉ポートパーク
所在地	千葉県千葉市中央区中央港1
事業名	港湾環境整備事業
事業主体	千葉県
事業期間	昭和52年～平成17年(暫定)
【社会資本の役割・効果】	
港湾就業者および港を訪れる人々に対して、親水空間を提供するための休憩緑地として、またポートタワー、人工海浜などを有したシンボル緑地として期待されている。	
複合的な施設を整備することにより、目的に応じた人々が気軽に集まり、自然の空気を満喫でき、子供から大人まで幅広い年齢層に親しまれている。	
【位置図】	
	
【関連ホームページ】 千葉市の観光情報	<a href="http://www.kankou.city.chiba.jp">http://www.kankou.city.chiba.jp</a>